巨摩郡河原部村新船打立て

釜無川通岩淵迄通船に付甲府名主一同願書

一御府内町々名主共一同願上げ奉り候は、巨摩郡河原部村にて新船打立て、釜無川通り岩淵河岸迄通船相成り候趣承知仕り候。一体御当国の義は山国にて、是れ迄諸荷物等牛馬にて附け運び

致し、殊に御府内近辺の米穀にては市中飯米引足り申さず、信州表并に逸見筋・武川筋の附け入り米第一に相用い来り候、御城下に付、是迄迚も違作致し候、年柄米穀払底にて市中へ入り米之れ無く差支え候節は、鰍沢・青柳・黒沢三岸より駿州表へ川下げ米致し候義は御差留め願上げ奉り候処、その時に厳重に御差留め成し下され候程の御儀御座候処、右信州辺并に逸見筋米穀附け入り候咽首、河原部村において新河岸相立て、尤も御廻米の儀は格別右に事寄せ、所一己の

弁利宣きにまかせ、駿州辺へ穀物引合い候節は自由勝手儘に取斗い、右様候えば、自然市中へ附入り米之れ無く、必至と差支え難渋に廻り候義は、眼前の義と歎敷く存じ奉り候。左に候えば御府内米価高値に相成り候に付、在々一統へ相響き、右目安に相成り郷中弥直段引上り候えば、御国中の騒立ちにも相成り申すべき哉と斗り難く、心配仕り候。右体米川下げ相成り候えば、諸荷物等も是に準じ、猶又駿州岩淵河岸より塩その外諸品物等、河原部村へ川上げ

着船致し、都て同所にて御府内同様諸商売向き、手広に相成り候えば、信州辺よりの通伝宜く、并逸見筋其の外最寄りの村々は、河原部村にて諸事弁用致し候様成行き候えば、自今甲府御城下商人共も諸商売方相減り、衰微の基と歎敷く存じ奉り候。且又右向々米穀は勿論、産物諸品に至る迄、郡内領并に東郡行き諸荷物、甲府表是れ迄陸路附入り候分、河原部村より川船を以て釜無川より富士川落合迄積下し、夫より笛吹

川通り一途に市部村河岸へ着き、且又郡内領・東郡筋諸物等も、是又市部村河岸より右川筋通船、河原部村へ運び送り相成り候えば、双方共往き返し諸荷物一円甲府表へ相掛り申さず、右様御座候にては、町方の衰微、諸向き融通しかと差支え申すべく候、市中の者共儀は素より商い一式渡世に御座候えば、諸商売向き、連々手薄に相成り、右廉に前条申上げ奉り候姿に成行き候えば、御府内一統難渋に陥り、追々退転に及び、恐れ乍ら御公役も相勤め難く相成り候ては何とも

恐入り奉り候趣、町内者共、私し共迄申出で候間、恐れる事をえず恐れを顧みず、当御役所様へ歎き訴え候、何卒格別を以て御賢慮右の趣、聞し召し訳させられ、御府内の者共相助り往々御公役も滞り無く相勤め、且は永続安住仕り候様厚き御仁恵の程偏に願上げ奉り候。已上

弘化二巳年十月

御　役　所